

編集後記

新潟国際情報大学情報文化学部紀要が発行されました。論文を執筆された皆さん、また本学総務課の武田千春さん、印刷・校正を担当された(株)第一印刷所の佐藤あゆみさんのおかげです。感謝いたします。

今年度も情報文化学部紀要は、論文及び研究ノートとも多彩な教授陣による充実した内容となりました。情報文化学部は開学以来、世界文化としての情報文化の意味を理解し、情報文化の創造と発展に貢献することのできる人材を育成することを目的とし、情報文化学科と情報システム学科の2学科で構成されてきました。

時代の大きな変化は、学部学科の構成や研究テーマの変化としてあらわれてきているように見受けられます。2013年度から情報システム学科内に情報コースと経営コースが設置され、また2014年度からは情報文化学科は国際学部国際文化学科として再編成され、現在に至っています。研究テーマをみると、学外の研究者との執筆、海外をフィールドとする研究や情報教育に関連するものなどユニークなテーマが並んでおります。このことは情報システム学科の目指す情報システム学が情報とシステム、人間と社会、経営と組織やコンピュータと通信というように文系と理系にまたがる幅広い領域の学問であることに加え、論文執筆者たちの精力的な教育研究活動の成果を示しているといえるでしょう。

現在、情報文化学部情報システム学科ではこれまでの2コース制の実績をふまえ、経営分野をより充実、発展させるための検討を精力的に行っています。教授陣による教育内容の改善と活発な研究活動を両輪として、次年度の紀要の更なる充実を図っていくこととします。

情報文化学部 紀要編集委員長
小林満男